

当院にて下顎小白歯の根管治療を受けられた患者様へ

この度、東京歯科大学歯内療法学講座において下記内容にて研究を行うこととなりました。内容をお読みになり、ご理解いただけましたら、研究にご協力くださいますようお願いいたします。

1. 研究課題名

副根管を有した日本人下顎小白歯に手術用顕微鏡を用いた根管治療後調査

2. 研究目的

下顎小白歯の副根管（根の先端の神経の管の枝分かれ）の発現率は下顎第一小白歯で20%と報告されており、臨床において遭遇することも多いですがその対応と治療は困難です。今回我々は、手術用顕微鏡を用いて治療を行った症例の情報を収集して、その治療法と成功率に関して調査することを目的としております。

3. 研究方法

この研究は、2014年1月から2017年12月までに東京歯科大学水道橋病院、千葉歯科医療センター（旧千葉病院）を受診され、下顎小白歯に副根管を有し、手術用顕微鏡下で歯内療法を行った患者様の診療記録、エックス線写真（デンタルエックス線写真、コーンビームCT画像）、口腔内写真、手術用顕微鏡画像を用いて行う研究です。治療前、治療中、治療後の、診療録と口腔内写真、手術用顕微鏡画像を用いて臨床症状の有無と、咬合して機能しているかの有無、エックス線写真を用いて病変の縮小が得られているかの有無を比較し、治癒状態を評価して治癒が得られるまでにかかった期間と成功率を調査します。研究期間は2021年3月31日までを予定しております。

4. 個人情報等の取り扱い、研究に関する情報公開について

この研究に関わって収集される資料や情報は外部に漏洩することのないよう、慎重に取り扱います。また資料は東京歯科大学歯内療法学講座で解析されますが、氏名、住所、生年月日等の個人情報は除外されて匿名化されて解析されるため、個人が特定されることはありません。患者様に関する情報は、歯内療法学講座にて厳格に管理いたします。情報管理者は山田雅司です。また、学会発表等で使用いたしますが、個人が特定できるような情報は一切公表されません。得られた個人情報は暗号処理化されて、パスワードロックしたハードディスクで厳重に保管されます。ハードディスクを破棄する際には物理的に破壊し、データ流出の可能性を極小に抑えます。

5. 研究協力者に生じる負担ならびに予測されるリスク及び利益

これまでの治療の中で撮影した画像や資料を使用いたしますので、当該研究にご協力いただくことで患者様に新たな負担が生じることはございません。

6. 倫理審査委員会の承認

本研究は、東京歯科大学倫理審査委員会の審査を経て、学長の承認を得ております。

7. 研究協力とデータ提供拒否の自由

本研究のご協力をいただくことに関しては患者様の自由意思に基づくものです。データ提供の拒否によって不利益な扱いを受けることはありません。データ提供を拒否する場合は不同意書を提出していただくこととなります。その際は、研究責任者もしくは研究分担者にお問い合わせください。

お問い合わせ先

本研究に関するご質問やご意見がある場合は、下記へご連絡下さい。

東京歯科大学 歯内療法学講座

研究責任者 山田雅司

研究分担者 佐古 亮、杉内亜紀奈

連絡先 〒101-0061

東京都千代田区神田三崎町2-9-18

東京歯科大学 歯内療法学講座

電話 : 03-6380-9136